



2025年12月12日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼 CEO 高崎正年
(コード 3121 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 CFO 加藤東司
(TEL 03-6434-5540)

2025年10月期決算の概要について

当社が本日公表した2025年10月期決算の概要を下記のとおり知らせいたします。

記

(単位:百万円)

	前期 (2024年10月期) 実績 2023.11.1~2024.10.31	当期 (2025年10月期) 実績 2024.11.1~2025.10.31	来期 (2026年10月期) 予想 2025.11.1~2026.10.31
売 上 高	4,446	3,383	4,500
営 業 利 益	326	285	580
経 常 利 益	99	△31	300
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	182	△85	240

- ① 当期は、8物件の売却により、前期実績(4,446百万円)を上回る売上高46億円を見込んでおりましたが、6物件の売却に止まり、前期比23.9%の減収となりました。
- ② 営業利益は285百万円となりましたが、当期におきましては、営業外費用として、当期実施した株主優待の費用45百万円、2025年7月に実施した第三者割当増資の費用38百万円の負担があり、経常損失31百万円となりました。
- ③ さらに、投資有価証券(未上場株式2銘柄)の評価を保守的に行い、特別損失に投資有価証券評価損50百万円を計上したため、親会社株主に帰属する当期純損失85百万円となりました。
- ④ 昨今の不動産価格と金利の上昇傾向を踏まえ、保有する不動産物件の売却を積極的に行い、売上利益とキャッシュ・フローの確保を行いながら、資金や再生可能エネルギー案件など、より収益性の高い投資案件の強化に取り組んでおります。保有不動産物件の売却等により、当期は、2,357百万円の営業キャッシュ・フローを確保、また、2025年7月に第三者割当増資による新株式発行に伴って766百万円の資金調達も行い、より収益性の高い投資案件に取り組むべく、投資資金の確保に努めております。
- ⑤ 2026年10月期も、引き続き、所有する不動産物件の売却と、資金や再生可能エネルギー案件、M&Aなど、より収益性の高い投資案件の強化を行い、売上高4,500百万円、営業利益580百万円、経常利益300百万円、親会社株主に帰属する当期純利益240百万円を見込んでおります。

以 上